

指定管理者評価シート

事業名	公立保育所等運営費	所管課(電話番号)	子ども未来局子育て支援部子育て支援課(211-2988)
-----	-----------	-----------	------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市大通保育園	所在地	札幌市中央区大通東4丁目5-1
開設時期	昭和62年1月1日	延床面積	612.28
目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)39条の規定に基づく保育所として、保護者の労働、疾病その他の事由により、その監護すべき児童について保育を必要とする場合、当該児童を保育すること。		
事業概要	保育事業		
主要施設	保育室、乳児室、遊戯室、事務室、調理室		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人ろうふく会 札幌市大通保育園		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	非公募		
	非公募の場合、その理由:施設利用者との継続的な信頼関係が求められるため、非公募としたもの。		
指定単位	施設数:1施設		
	複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設の維持及び管理。保育の実施及び保育の実施に付随する業務。		
3 評価単位	施設数:1施設		
	複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和7年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 札幌市の公の施設としての役割を踏まえ、公平・構成的な利用機会の確保、児童の安全確保、保育の質の維持向上及び、保護者との信頼関係の構築を基本方針として管理運営を行った。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 在園児への保育に加え、子育て相談等の取り組みを行い、利用者以外の地域の子育て世帯に対しても支援を実施した。また、誰もが相談しやすい環境づくりに努めた。 ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 電気、ガス、水道の使用については日常的に節約に努めた。光熱費高騰の影響により、大幅な削減には至らなかったが、不要照明の消灯、適正な室温管理、節水等を継続した。また、札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出した。 ▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)	公の施設としての公共性を意識しながら、安定した保育運営に努めることができた。特に安全面と保護者対応を重視した運営を継続できおり、基本方針に沿った管理が概ね適切にできた。 在園児家庭に限らず地域の子育て支援として情報を広げたことで、保育所の社会的役割を果たすことができた。平等利用の観点からも開かれた施設運営につながった。 光熱費高騰の影響を受ける中でも、職員の意識共有により、継続的な省エネ取り組みを実施できた。	A B C D 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。

	業務分担、指揮系統、連絡系統を明確にし、安全管理マニュアル等に基づいて運営した。必要な職員配置の確保に努めるとともに、会議、研修等を通じて、情報共有及び人材育成を図った。 ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 職員会議や日々の打合せ等を通じて業務改善事項を共有し、保育内容、安全管理、保護者対応等について継続的な見直しを行った。 ▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) 清掃、整備点検、警備その他必要な委託業務について、仕様書および契約内容に基づき、履行状況を確認し、必要に応じて連絡調整を行った。 ▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催) <table><tr><td>開催回</td><td>協議・報告内容</td></tr><tr><td>第1回</td><td>利用定員減について・修繕について</td></tr><tr><td colspan="2">＜協議会メンバー＞理事長・園長</td></tr><tr><td colspan="2">子ども未来局 運営一係長、施設運営課長、施設運営課保育園担当</td></tr></table> ▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) 経理規程等に基づき、指定管理業務に係る収支を適切に管理した。現金の取り扱いについても、複数人による確認や帳簿管理を徹底し、適正な事務処理に努めた。 ▽ 要望・苦情対応 要望・苦情については、受付内容を記録の上、職員間で共有し、内容に応じて速やかに対応した。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) 保育日誌、児童票、各種業務記録等を適切に作成、保管するとともに、セルフモニタリングや事業報告を実施した。札幌市の検査、照会等にも適切に対応した。	開催回	協議・報告内容	第1回	利用定員減について・修繕について	＜協議会メンバー＞理事長・園長		子ども未来局 運営一係長、施設運営課長、施設運営課保育園担当		日常業務及び緊急対応の体制を明確にすることで、安定した園運営につなげることができた。職員間の共有も概ね円滑に行うことができた。 日常的な振り返りを通じて、保育の質の維持向上に取り組むことができた。現場の意見を運営に反映することで、実務に即した改善ができた。 業務委託は概ね適正に履行されており、施設運営に支障は生じなかった。 行政及び関係機関との連携を維持することで、課題発生時にも適切な対応につなげることができた。 日常の会計処理及び現金管理は概ね適正に実施できた。引き続き確認体制を維持し、事故防止と透明性確保に努めた。 早期把握と共有を心掛けたことで、大きなトラブルに発展させることなく対応できた。 記録の整備と振り返りを通じて、保育の質及び業務の適正管理につなげることができた。
開催回	協議・報告内容									
第1回	利用定員減について・修繕について									
＜協議会メンバー＞理事長・園長										
子ども未来局 運営一係長、施設運営課長、施設運営課保育園担当										
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) 労働関係法令を遵守し、就業規則、勤務時間管理、時間外勤務管理、各種保険加入等を適切に実施した。健康診断についても対象職員に対して実施し、安全衛生面の確保に努めた。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。	A	B	C	D				
A	B	C	D							

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) 利用者の安全確保を最優先に、日常点検、連絡体制の確保、事故防止のための職員共有を行った。必要な保険加入についても適切に対応した。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) 清掃、設備点検、修繕、備品管理等について、年間計画および必要に応じた対応により、適切に実施した。不具合箇所については、状況を確認の上、優先順位を付けて対応した ▽ 防災 防災計画に基づき、避難訓練等を実施し、災害時の対応手順を職員間で共有した。施設整備の安全確認にも努めた。	安全管理を第1に運営し、大きな事故なく施設運営をすることができた。 日常の維持管理を継続することで、保育環境を概ね良好に保つことができた。老朽化等による課題はあるものの、適切な確認と対応に努めた 訓練の実施を通じて、職員の防災意識向上と緊急時対応の維持につなげることができた。今後も実践的な訓練を継続したい。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">市の指導を受けることなく、適切に管理されている。</td></tr></table>	A	B	C	D	市の指導を受けることなく、適切に管理されている。																											
	A	B	C	D																															
市の指導を受けることなく、適切に管理されている。																																			
(4)事業の計画・実施業務	▽ 保育実施状況 ▼ 保育時間 7時～0時 ▼ 児童数(令和8年3月1日時点、()内は夜間) <table><tr><td></td><td>定員</td><td>R6実績</td><td>R7実績</td></tr><tr><td>0歳児</td><td>6</td><td>10(2)人</td><td>9(2)人</td></tr><tr><td>1～2歳児</td><td>18</td><td>17(2)人</td><td>17(1)人</td></tr><tr><td>3歳児</td><td>12</td><td>12(2)人</td><td>9(1)人</td></tr><tr><td>4～5歳児</td><td>24</td><td>23(4)人</td><td>24(3)人</td></tr><tr><td>計</td><td>60(30人)</td><td>62(10)人</td><td>59(7)人</td></tr></table> ▼ 職員数 施設長1名、主任保育士1名、保育士14名、栄養士1名 調理員4名、用務員1名 ▼ 行事の実施 7/23さとらんど農業体験(5歳児)、7/26運動会、8/7たなばた、9/5お泊り会、9/18動物園遠足、9/25おまつりごっこ、12/7発表会、12/25クリスマス会、12/26おもちゃつき会、2/3豆まき会2/17滝野そり滑り、3/6お別れ会、3/15卒園式 ▼ 健康診断の実施 5, 8, 11, 12月 全園児、内科検診実施		定員	R6実績	R7実績	0歳児	6	10(2)人	9(2)人	1～2歳児	18	17(2)人	17(1)人	3歳児	12	12(2)人	9(1)人	4～5歳児	24	23(4)人	24(3)人	計	60(30人)	62(10)人	59(7)人	保育所保育指針等を踏まえ、年齢及び発達に応じた保育を実施した。保育時間を遵守し、日々の保育、行事、健康診断等を計画的に行った。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">行事の積極的な実施に取り組んでいる。また、健康診断については、基準回数以上に実施しており、児童の健康状態の把握に積極的に取り組んでいる。</td></tr></table>	A	B	C	D	行事の積極的な実施に取り組んでいる。また、健康診断については、基準回数以上に実施しており、児童の健康状態の把握に積極的に取り組んでいる。			
	定員	R6実績	R7実績																																
0歳児	6	10(2)人	9(2)人																																
1～2歳児	18	17(2)人	17(1)人																																
3歳児	12	12(2)人	9(1)人																																
4～5歳児	24	23(4)人	24(3)人																																
計	60(30人)	62(10)人	59(7)人																																
A	B	C	D																																
行事の積極的な実施に取り組んでいる。また、健康診断については、基準回数以上に実施しており、児童の健康状態の把握に積極的に取り組んでいる。																																			
(5)施設利用に関する業務	▽ 保育に付随する業務の実施状況 <table><tr><td>種別(内容)</td><td>R6実績</td><td>R7実績</td></tr><tr><td>通常:延長保育(18時から19時まで)</td><td>197人</td><td>199人</td></tr><tr><td>夜間:延長保育(8時から10時まで)</td><td>45人</td><td>27人</td></tr><tr><td>夜間:延長保育(21時以降)</td><td>46人</td><td>36人</td></tr><tr><td>一時保育(8時から18時まで)</td><td>43人</td><td>26人</td></tr></table> ※ 実績は該当年度延べ利用児童数	種別(内容)	R6実績	R7実績	通常:延長保育(18時から19時まで)	197人	199人	夜間:延長保育(8時から10時まで)	45人	27人	夜間:延長保育(21時以降)	46人	36人	一時保育(8時から18時まで)	43人	26人	保護者の多様な就労状況や家庭事情に対応するため、付随業務を適切に実施することができた。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">札幌市の施策である時間外・夜間・一時保育事業の実施に努めている。</td></tr></table>	A	B	C	D	札幌市の施策である時間外・夜間・一時保育事業の実施に努めている。												
種別(内容)	R6実績	R7実績																																	
通常:延長保育(18時から19時まで)	197人	199人																																	
夜間:延長保育(8時から10時まで)	45人	27人																																	
夜間:延長保育(21時以降)	46人	36人																																	
一時保育(8時から18時まで)	43人	26人																																	
A	B	C	D																																
札幌市の施策である時間外・夜間・一時保育事業の実施に努めている。																																			

(6)付随業務		▽ 広報業務 園だより、配信等を通じて、保育内容や行事予定、施設からのお知らせを適切に配信した。必要な情報が、保護者、地域の方にわかりやすく伝わるよう努めた。 ▽ 引継ぎ業務 継続指定事業であるため、引継ぎなし。		保護者への情報提供を継続的に行うことで、安心感のある施設運営につなげることができた。	A B C D 園の情報発信に努めている。
2 自主事業その他					
▽ 自主事業 なし ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 物品購入や委託契約等に当たっては、可能な範囲で市内企業の活用に努めた。また、福祉的配慮の視点を持って業務を実施した。				地域経済等へ配慮を意識した運営を行うことができた。	A B C D 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。
3 利用者の満足度					
▽ 利用者アンケートの結果		実施方法 こどもで配信アンケートを無記名で行う。 結果概要 総合的 とても良い72.7%、良い21.29%、普通1%、あまり良くない1% 行事 とても良い64.7%、良い26.5%、普通8.8% 食事 とても良い60.6%、良い21.2%、普通18.2% 保育士 とても良い72.7%、良い21.29%、あまり良くない6.1% 利用者からの意見・要望とその対応 保育園内がきれいではない。壁紙や畳、床をリフォームしてほしい。 お迎えの時間の猶予が予定時間から15分しかないので、幅を持たせてもらえるとありがたい。 →リフォームは今後検討、お迎えは30分程度に変更 イベント毎に素敵な手作りグッズや素敵なアイディアで園児だけでなく、私たち親も楽しませてもらっています		利用者からは概ね良好な評価を得ることができた一方、改善要望については真摯に受け止め、今後の運営改善につなげる必要がある。	A B C D 満足度は高い評価を得られている。
4 収支状況					
▽ 収支		(千円)			A B C D
項目		R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)	厳しい経営環境の中でも、必要な保育の質を維持しながら、概ね適正な収支管理を行うことができた。今後も安定的な運営に努めたい。
収入		121,485	125,764	4,279	
指定管理業務収入		121,485	125,764	4,279	
委託費収入		97,337	95,901	▲ 1,436	
利用料金収入		2,472	2,337	▲ 135	
補助金収入		20,832	26,528	0	
その他収入		844	998	154	
自主事業収入				0	
支出		108,524	125,414	16,890	
指定管理業務支出		108,524	125,414	16,890	
人件費支出		89,063	107,956	18,893	
事業費支出		14,115	12,015	▲ 2,100	
事務費支出		4,506	4,550	44	
その他支出		840	893	53	
自主事業支出				0	
収入-支出		12,961	350	▲ 12,611	

▽ 説明		
収支については概ね計画に沿って執行した。物価上昇、光熱費高騰の影響を受けた科目もあったが、支出内容を精査し、適正な予算執行に努めた。差額の主な要因は、人件費である。		

<確認項目> ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 法人全体の運営状況を踏まえながら、討議施設の管理運営に必要な人員及び資金の確保に努め、安定的な施設運営を継続した。	収支の厳しい状況に変わりはないが、今後も安定した収支管理をしていく。	適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 各条例及び関係規定に則り、適切に対応した。	条例に則り、運営できた。	適	不適

III 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
令和7年度は、公の施設としての役割を踏まえ、園児の安全確保と保育の質の維持向上を基本に、概ね安定した施設運営を行うことができた。保護者対応、地域支援、施設管理、労務管理等についても、関係法令及び規程に基づき適切な実施に努めた。一方で、物価上昇や光熱費高騰、施設の経年劣化への対応など継続的な課題もあることから、今後も業務の効率化と保育環境の維持向上を両立させながら、より質の高い運営を目指していきたい。	次年度は、園児の安全確保を最優先としつつ、保育の質の一層の向上、保護者との連携強化、職員の人材育成および働きやすい職場環境づくりに重点的に取り組む。また、施設整備の計画的な点検・修繕・環境配慮の推進、利用者の声を踏まえた運営改善を継続し、地域に信頼される保育所運営に努める。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
法令を遵守し、保育の質を保っていること、札幌市の施策に対して積極的に取り組み、様々な保育ニーズに対応していることが利用者の満足度にも表れているように見受けられる。また、施設の老朽化への対応等については、引き続き改善に向けた協議を進めていきたい。	